

**製品名: VAV3 (6C5) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe19744**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	98kDa

**抗原情報**

遺伝子名	VAV3
別名	RGD1565941; VAV 3; Vav3; VAV3 oncogene;
遺伝子 ID	10451.0
SwissProt ID	Q9UKW4
免疫原	ヒト VAV3 の合成ペプチド

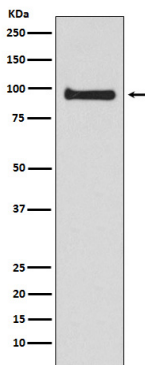
**背景**

血管新生に重要な役割を果たします。リン酸化 EPHA2 によるリクルートは、EFNA1 誘導性の RAC1 GTPase 活性化と血管内皮細胞の移動および集合に重要です。GTP 結合タンパク質 RhoA、RhoG、および程度は低いものの Rac1 の交換因子です。これらの GTPase のヌクレオチドを含まない状態に物理的に結合します。血管新生に重要な役割を果たします。リン酸化 EPHA2 によるリクルートは、EFNA1 誘導性の RAC1 GTPase 活性化と血管内皮細胞の移動および集合に重要です (類似性による)。少なくとも一部の細胞型では、インテグリンを介したシグナル伝達に重要である可能性があります。破骨細胞では、SYK チロシンキナーゼとともに、破骨細胞の適切な細胞骨格の構成と機能に重要なイベントであるインテグリン  $\alpha$ -v/ $\beta$ -1 (ITAGV-ITGB1) を介したシグナル伝達に必要です。このシグナル伝達経路は RAC1 の活性化に関与するが、RHO の活性化には関与しない。適切な創傷治癒に必須である。創傷治癒過程においては、マクロファージによるアポトーシス誘導性好中球の貪食に先立つ貪食カップの形成に必須である。インテグリン  $\beta$ 2 (ITGB2) を介したマクロファージ接着に関与し、また、程度は低いものの、 $\beta$ 3 (ITGB3) を介した接着にも寄与する。インテグリン  $\beta$ 1 (ITGB1) を介した接着には影響しない (類似性に基づく)。

## 研究分野

アクチンダイナミクスの制御; AMPK

## 画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の VAV3 発現のウェスタン プロット分析。